

会長挨拶



(一社)全国物流ネットワーク協会(全流協)会長の森 日出男です。

全流協は1953年1月に東京都内に発着の事業所を置く路線トラック事業者(特別積合せ貨物運送事業者)により設立された団体(旧名 東京路線トラック協議会、東京路線トラック協会)として発足し、本年で66周年を迎えております。

全流協は常に運送事業が日本経済や国民生活を支え、世のため人のためにお役に立つ社会的インフラとして、会員の皆様と一致協力してその地位向上に努めてまいりました。

物流・運送業界は少子高齢化等に起因する人手不足に直面しており、社会的インフラとしての機能を維持していくには、労働環境の整備・生産性の向上が必須の課題となっております。今後は協会会員の相互の協調・協力により共に創り上げていく共創による新たなシステム・仕組みづくりにより、諸課題の解決に向けて更に前進する協会運営に努めたいと思っております。

時代の推移と共に、企業も団体も世の中から期待される役割も変化していきます。その期待に答える事の出来ない組織は埋没してしまいます。常に先にある危機を克服する先見性と柔軟性で素早い対応力を持つ組織が求められています。

全流協も100周年に向かい、変化に対応しながら会員企業の発展に資するため、これからも今まで以上に大きな役割を果たして行きたいと考えています。

ご関係の各位におかれましては更なるご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

(一社)全国物流ネットワーク協会 会長

森 日出男